

(会議の経過) 伊水・都多小学校区 第1回 学校規模適正化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※次第「1. 開会」会議の進行
事務局	※次第「2. あいさつ」
委員・事務局	※次第「3. 自己紹介」
事務局	※次第「4. 報告事項」資料により説明
事務局	※次第「5. 協議事項」資料により説明
委員	この委員は「あて職」でということになるのか、それともずっと同じ顔ぶれでやっていくのか教えていただきたい。来年3月に私たち(老人クラブ正副会長)は代わる。どうするのか。要領(案)を見たらこの名前でやるようにみえる。あて職ならこのメンバーの半分以上が代わる。そこをハッキリしてほしい。
事務局	来年3月で任期を迎えられて、もしこの協議が来年4月以降もということになれば、役職交代された方に引き継いで、新しい方でこの委員会を運営していくということで考えています。
委員	分かりました。役を退いたら終わりということですね。
事務局	※会長・副会長の選任について提案。
委員	会長 平瀬順一委員、副会長 久保敏彦委員
委員	拍手で承認。
委員	正副会長あいさつ
事務局	次第「5. (3) 今後の進め方について」
事務局	資料8～9ページ説明
委員	資料6ページ、この数字を見て、伊水と都多の適正化、これは他校も含んだ適正化を言っているのですか。令和7・8年のこの数字だったら同じことになる。どこまでどれをするのか計画性は?
事務局	現段階としては、伊水と都多の適正化で考えています。
委員	数字から言ったら見通しがたたないのでは。
事務局	子どもの数は非常に減っている。場合によってはこれから地域の皆様の協議を含めて新たな展開もあるかもしれない。今、教育委員会のスタートとしては、伊水・都多の適正化で考えています。
委員	2回目、3回目になって、伊水・都多だけでなく、他の学校も含んだ適正化になることもあり得るということですか。
事務局	現段階では、蔦沢地区と考えているが、地域の声や意見を聴かせていただく中で、その議論の中で、もうひとつ大きな枠組みでということになれば、それは、次の調整ということでもた時間のかかることになるが、そういった議論を全く受け付けないということではありません。
事務局	※次第「6. (1) 小中一貫教育の推進について」資料により説明
会長	小中一貫校について、タウンミーティングや議会と語ろう会、議会の傍聴いろいろさせていただいているが、メリットばかり表に出ている。デメリットも必ずあるはずなのに表に出てきていない。良いことばかり言われている。
事務局	デメリットもたしかにあります。先進校を見させてもらおうと、教員の負担が大きい。今までになかったことをするので。県教委にも要望したが、教員の定員を増やすとか、加配をつけるなどで、そういうようなことで改善したい。逆に、慣れてしまえば、中学校の先生が小学校で授業をして、小学校の

	<p>先生が中学校で授業をして、そうやって効率が上がってメリットがある面もあるが、そのへんがまず、導入した時のデメリットということも聞いています。それから、資料のQ&AのQ2、これは、どの先進校でも言っていることですが、今までだったら例えば 5-4 制にすると、小学校 6 年生が最上級生だったのがそうでなくなって、中学校の下級生のような扱いになってしまい、リーダーシップが育ちにくいかもしれないという話も聞いています。そうならないために先進校が行っているのが、生徒会とか児童会については従来の枠組みどおり、児童会は小学校 6 年生まで、生徒会は中学校 1・2・3 年生でやって、小学校 6 年生のリーダーシップをなくさないように努めているという工夫も聞いています。デメリット面もしっかり受け止めて、なんとかデメリット面を解消していきたいと考えています。</p>
委員	<p>資料を見させていただいて、例えば 6 ページの複式学級とか、小中一貫とかいろんなことを書いているが、現状は非常に厳しい。今資料だけ見たら 3 年くらいかかっている。他の委員が仰ったように令和 8 年度になったらまた今の話が狂ってきて、せっかくここで地域の委員会をして、先を見るならもっと範囲を広げてもらって、というように考え直してもらおうということもどうか。すぐに行き詰まるのが見えている。せっかくこうやって小中一貫も考えられるなら。</p>
会長	<p>今後のこの委員会の進め方、もっと規模を大きくするのか、現状の伊水・都多だけの問題にするのかということ、今後の委員会の進め方について、事務局はどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>今後の進め方として、まず地元の説明会が必要かどうかを協議していただければと考えています。5 年前には地元の説明会をしており、改めて説明会を蕨沢地区でした方がよかったら調整させていただきます。</p>
会長	<p>各自治会でということになると大変なので、いくらか寄っていただいて、「こういう方針でいく」という説明会が必要かと思うが、委員の皆さんはどう思われますか。</p>
事務局	<p>委員会で「こういうふうに進める。あれはこうする。」とするのではなく、私の希望としては、地元住民への説明会、人数制限もあるから何回かに分けて地元説明会を開催していただきたいと私個人としては思っています。</p> <p>反対がないようであれば、会長と相談して、地元説明会の日程を決めていきたいと思う。先ほどから意見が出ているように、もう少し広い範囲でという部分についても、もし意見があるようであれば、この場でも聞きたいし、もし必要であればアンケートの実施についても考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>アンケートは前もとった。再度アンケートをとるのは良いとして、前のアンケートをとる時も、「先が透けて見えるから代案を提案する」というような内容で提出したと思います。それはボツになって、結果、5 年間繰り延べという話になりました。今回されるのであれば、委員会は何をもって何のためにどうするのか、具体的にある程度の方針をもって説明会をお願いしたい。</p>
委員	<p>他の委員の続きではないが、私も 10 年前の懇談会に参加していました。こんなペーパーを持って来られて、10 年前も小中一貫って同じようなことを言われていました。</p> <p>役所は「食事を奢る」と言ったら飯だけ奢ってそれ以外は何も言わない。だから今、委員が言われたように、案を、こんな緩やかに書いているが、伊水</p>

	<p>と都多の統廃合ってハッキリ書いたら良い。</p> <p>10年前の懇談会で、伊水と都多がどうしてやめたかと言うと、ケンカになつたらいけないから。「伊水に來い」「都多に來い」「いや、そっちから上がってこい」そういう話をしました。しかし、当時、伊水は体育館も校舎も古かったが、都多は新しかった。そういう話をたくさんしました。それなのにまた同じようなことを言っている。委員も言われたように、トップダウンで、ハッキリ言ったら良い、時間も経っているから。「場所はどこにしましょう」とか書いてあった。伊水と都多、当時と一緒に。「どっちにひつつく」や、「都多からマイクロバスで出てくる」みたいな、案1、案2、案3とそういうやり方をしていけないと進まない。だから役所もトップダウンでやったら良い。賛成するか反対するかは別の話。意見と言われたって、誰もまた代わって、自治会長も私らも全部代わる。今まで教育委員会は千種や波賀もやっているから、要領全て心得ているはず。気を遣うことはないと思います。</p>
事務局	<p>先ほどトップダウンでと意見をいただいたが、教育委員会としても、5年経って本日がスタートと思っています。もう少し大きな枠組みで検討すべきではないかという意見もいただきました。説明会というのは、当然いろんな意見があると思います。トップダウンというわけにはいかないが、地域の声を聴かせていただきながら、大きな枠組みでということが意見として集約されるのであれば、市としてはそういったことも検討しなければいけないと思っています。今日は5年ぶりのスタートの日と思っていますし、今後、大きな枠組みも含んで、地域の声も聴かせていただきながら、当然、市の考えも示させていただきながら、議論を進めさせていただきたいと思っています。トップダウンというわけにはいかないが、幅広い議論をさせていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>昔と今と大きく違うのは、このコロナ禍で、少人数にしてあとはビデオ参加して、たしか3～4年前に都多小学校がNTTドコモのそういうような装置で、都会の学校と同じような授業をした。そういうのをニュースで見た。これからは、そういう授業をどんどん、例えば1か月に1回でも入れていって、もっとIT化していくような時代になっていくと思います。だから要望としては、パソコンもそうだがIT化の授業をどんどん積極的に取り入れていってほしいと思います。</p>
事務局	<p>IT授業としては、令和5年度までに全国1人1台タブレットを持つということで進めていたが、コロナ禍の影響で、今年度遅くても11月になるかと思いますが、市内の全小中学生に1人1台タブレットを配置という形になります。ただ、ハードの導入と、それから教員も含めてスキルを上げていくことは難しいことなので、並行しながら、リモート学習とか、場所が違ってもITを活用した授業の取組を進めさせていただきたいと思っています。タブレットが導入されるのは今年度11月ぐらいになります。</p>
会長	<p>今後の進め方の日程について、事務局の方から何かありますか。</p> <p>資料の適正化の行程イメージとして、2年7か月かけてやるのではなく、前倒しできるところは前倒しできないか。例えば1年前倒しして、今から1年7か月で完了とか。2年7か月ということは、ほとんどのメンバーが代わってしまう、今の案だと。また一から説明ということになるのでそういうのも考えていただきたいと思っています。</p>

事務局	<p>行程イメージは、これまで過去に進めてきたオーソドックスなスケジュールを示しています。例えば、地域の委員会の期間が短くなるとか、それから学校等の改修とか、そういったことを考えていくと、過去の事例で言うと、山崎西小学校は3年ではなく2年でしているので、期間の短縮というのは今後の協議の中で可能ではないかと考えています。</p>
会長 事務局	<p>次の開催日時について事務局の考えはありますか。 次回の開催日は、事務局の思いとしては、今年度中に地域の委員会として方向性をまとめていただきたいと考えています。先ほどから意見があるように、もう少し大きな範囲でという部分も含めて、今後の方向性をまとめていただきたい。今後の進め方にもよりますが、だいたい2か月に1回程度、詰めれば1か月に1回、委員会を開催する方向で考えています。</p>
会長	<p>2か月に1回あるいは月に1回という方向が出ているが、委員のみなさんはどう思われますか。 8月の下旬なので、毎月すると12月の下旬はちょっと遠慮いただきたいし、2か月に1回にすると次は10月、12月ということになってくるので、どうすれば良いですか。</p>
事務局 会長	<p>今日集まっておられる委員の皆様はどちらが良いでしょうか。 2か月に1回か1か月に1回、もしこの期間を前倒しするのならば、回数を重ねていかねばならないと思います。 意見がないようなら、事務局と調整させていただいて、案内させていただくということでしょうか。 (委員了承) では、こちらの方から案内させていただくということをお願いします。 これで第1回の委員会を終わらせていただき進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>次回の開催日程については、また改めて案内させていただきます。 また、本委員会については、要領の規定により会議録を公開することになっているので、公開についてはまた皆様にご確認をいただいた後になります。会議録作成後、あらためて送付するので、ご確認いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>本日、前回からの委員さんから積極的な意見をいただきました。しかし、初めて出席していただいた方もいます。また地域の方では、皆様から情報を発信していただいて、いろんな意見を吸い上げていただき、次回からの会議には、より多くの意見を出していただいて、議論を尽くして、この委員会での方向性を出していただきたいと思います。</p> <p>終了 (午後8時45分)</p>

※発言者の表記は、「会長」、「委員」、「事務局」とする。